

遅れており、効率的かつ安定的な農業経営の育成や新規就農者の受け入れも十分に進んでいない状況にある。②平成十六年六月に、熊谷市担い手育成協議会を設立し、地域説明会を開催したところである。今後関係機関と連携し、集落等への支援に取り組み。③農業委員を中心に、個別訪問等を行いながら、認定農業者等の育成等を推進する。④担い手づくり対策基本方針等を作成し、農業者への理解を図っていくことである。⑤平成十九年度より、農地・水・環境保全向上対策を実施する。

○その他の質問項目

「埼玉県農業会議の埼玉県への建議について」

産業祭のあり方について

森 恒男 議員

問

今回、熊谷スポーツ文化公園で行われた産業祭は、旧妻沼町民には評判が悪い。住民からは「とてもあちらまで行けない。」「熊谷に皆持つていかれてしまう。」等の声も聞かれた。産業祭は、近くで慣れた場所がいいというのが、農村部での大方の雰

囲気であった。そこで、当面の間、旧市町ごとに開けないか伺いたい。



答

①第一回産業祭は、八十を超える団体が参加し、二日間で六万人以上の来場者を迎えた。会場内では、出店者が旧地域の枠を超えて交流を深めるとともに、来場者も農産物共進会など、多くのコーナーで、旧地域外の出品物に出会うことができ、合併後の熊谷が実感されたと考えている。しかし、会場の変更に伴い、交通手段やイベント内容等について多くの問合せをいただいたしており、今後はバスの増発を検討するとともにPRに努め、引き続き同じ会場で開催していきたいと考えている。

(産業振興部農業振興課)
○その他の質問項目
「市民が主人公の市政について」
ほか

市長の政治姿勢について

林 真佐子 議員

問

①憲法と首相の靖国神社参拝問題並びに新熊谷市の「非核平和都市宣言」について②民間学童保育の家賃補助の増額について③水害対策の促進について④住宅リフォーム助成制度の創設について、市長の政治姿勢を伺いたい。

答

①国政レベルで論議されておられ、地方公共団体の市長として所信は差し控えたい。旧市町における同宣言は、合併により失効しているが、新市でも世界の恒久平和を願うことは大変重要と認識している。②合併による事業の統合に併せ、補助体系のあり方を総合的に見直す中で財政状況等を勘案し、検討していく。③準用河川新屋川改修事業は、残りの用地買収を進めるとともに河道や橋梁の整備に取り組み。大原地区の洪水対策については、浚渫等の維持管理を行っているが、

今後河川改修の推進に努める。④導入の効果が一部の業種に偏ることや厳しい財政状況を勘案すると実施は困難である。(福祉部長寿いきがい課)

○その他の質問項目

「生活保護行政について」ほか

可燃ごみについて

杉山 文雄 議員

問

①旧大里地域の可燃ごみ収集は、現在週三回行われているが、今後どのようになるのか②旧妻沼地域の有料指定袋の休止理由と、今後の方針は③ごみの減量、リサイクルは市民の協力なしに実現できないが、今後どのように進めていくのか、それぞれ伺いたい。

答

①可燃ごみの収集については、週二回に統一する予定だが、その代わりに粗大ごみの収集日等が増加すると考えている。②「同じ熊谷市民でありながら、ごみに有料の地域と無料の地域があるのは不平等である。」との意見が多数寄せられ、慎重に協議した結果、行政の原則である公平・公正の観点から、指定ごみ袋の有料化を休止するに至った。ごみの有料化は、ごみ処理行政全般に及ぶものから、市民の負担を伴うことから、より慎重な検討が必要となるので、市民の皆様の理解と協力を得ながら、ごみの減量とリサイクルによる循環型社会の構築を実現するために、どのような施策が最も効果的か総合的に検討していく。③平成十八年度までに分別の品目や種類を統一し、ごみの排出抑制やリサイクル、そして分別収集等に引き続き協力していただけるよう啓発しながら、有効な方策を検討していきたい。

(環境部廃棄物対策課)
○その他の質問項目

「大里学童保育所(さくら館)の施設の安全対策について」
ほか



ごみの集積所(大里地区)